

## 自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念を開設当時の職員で考え、作りあげたものを掲げている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用の際には理念を伝え、毎日復唱しその理念に基づいた支援を介護現場で実践している。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域に買い物へ行ったり、外食をしたり、ラジオ体操・自治会の行事の参加など、地域の中で普通の暮らしができることを実践している。		
理念と共有 3項目中 3 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	洗濯干しや、畑作業をしている際など挨拶をかわしており、畑で収穫した野菜などを隣近所におすそ分けしている。近所の子供が裏庭に遊びに来ている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会一斉清掃、納涼祭・ランドゴルフ・避難訓練に参加している。	○	保育園・幼稚園へ手作りプレゼントをしていきたい
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	介護予防教室・認知症予防・ケアについての研修などを行なっている。年1～2回町内清掃などに入居者と参加し認知症の理解に努めている。実習生や見学の受け入れも積極的に行なっている。		
地域とのつきあい 3項目中 3 項目					
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義などを全職員に伝え、全員で自己評価に取り組んでいる。外部評価の結果をふまえ、改善方法を見出しすぐに取り組める状態にある。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回の会議の中で、評価の結果を伝え、各委員より意見をもらっている。合同避難訓練に参加できた。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行事の案内をさせてもらったり、季刊誌を配布している。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修には職員が順次参加するよう配慮しており、必要な際には活かす準備は整っている。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	順次研修には参加し、虐待の防止は職員全員周知している。また、ホーム内、自宅などにおいて虐待が見過ごされないよう、防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に事前に契約等について説明しており、再度疑問点が出てきた際は、その都度説明し理解できるよう努めている。利用者の状態の変化により、その都度対応方針を相談している。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見や相談、不満等については、職員が解決し、苦情に発展しない努力している。また、介護相談員を導入し、遠慮なく相談が出来る機会を作っている。苦情窓口を設置している。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に近日の様子を報告し、体調の変化はその都度電話連絡している。職員の異動等は、口頭及び広報誌に写真を載せ報告している。金銭については、出納帳に明示し報告している		
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書に明記し入所時、口頭でもお伝えしている。苦情相談窓口を設けている。施設内に意見箱を設置した。第三者委員会を設置している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日頃から職員とコミュニケーションをとり、カンファレンスを行ったり、意見や要望を聞いている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の様子やペースに合わせ、緊急時やその都度、柔軟な対応が取れるようにしている。(終末期を迎えられた利用者がある際は、夜勤者を2名配置した。)		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職等の場合は、その時期や引継ぎの期間を十分に設け、馴染みの関係の喪失体験については十分に注意している。		
理念を実践するための体制 7項目中 7 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修へは、一人ひとりにテーマを設け、できるだけ多くの職員が参加できるようにしている。また、それらの報告書に全職員目を通し、周知している。また、スキルアップにむけ、計画・実施している。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	G・H交換研修会にて、他G・Hへの見学研修や受け入れを行い交流を図り、互いの施設および、職員の質の向上を目指している。部会の参加(2ヶ月に1回)をしている。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	希望休が取得できるよう、シフトを組んでいる。また連休を取れるように配慮し、面談時に話を聴き、悩みやストレスの軽減に努めている。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	介護での成功体験や研修を通してスキルアップする事で意欲的に仕事に取り組めるよう努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 4 項目					
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	直接家庭訪問を行い聞き取りをするとともに、ケアマネを通じたり、家族を通じてできるだけ不安なく入居できるよう配慮している。面接に行った際、リラックスできる雰囲気を作り、本人がよく話せるよう配慮している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家庭に出向いたり、いつでも来ていただけるよう、案内をしている。こまごまとした入居後にしか思いつかないような事柄についても気軽に相談、要望できるように案内している。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の思いなどを確認し、必要なサービス(他のグループホームの空き情報も含め)につなげている。ケアマネとの連携を図り、何で困っているかを話し合い、それらに応じた支援をしている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前、本人・家族に希望に応じ何度でも見学していただけるよう、配慮している。また入居が決定した際には、なじみの家具を持ってきてもらったり、今までの地域とのつながりが途切れないよう配慮している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として昔からの風習(お正月、お彼岸、節分、お盆など)や手作り(おせち・らっきょ・梅干し・干し柿)のものなどから学ぶ機会を通し、双方向の関係を築いている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族が気軽に訪問出来、一緒に外出したり、グループホーム内の行事へ参加したり、受診や、家族旅行などが出来、利用者と喜怒哀楽を共に出来る自由な関係が継続できるよう支援している。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の日頃の状態をこまめに報告・相談し、面会時は家族だけの時間が持てるような空間(居室や他のスペース)を提供し、充実した時間が持てるよう配慮している。		
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	サロン・美容院・手紙や親しい方への電話のやり取りなど以前と変わらず交流をしていただけるよう支援している。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	外食・外出時など全員で行く事で支えあう場面を作っている。手を引いたり、励ましあったり声かけし合えるよう働きかけている。仲のよい人同士で過ごしたり外出の個別の対応も行なっている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	本人や家族は最期までホーム内で過ごしたいと希望される。出来るだけ希望に添えるよう関係機関と連携を取りながら支援している。退居された場合も、連携を取り、支援していきたいと考えている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6 項目					
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の嗜好や買物、外出希望時間、入浴時間等の希望やそれまでの生活習慣の把握に努めている。意志確認が困難な人には、家族から情報を得て、本人らしい生活が継続できるよう努めている。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前、訪問し本人・家族から生活歴等を聞いたり、ケアマネの情報やそれまでのケアプラン等も参考にしていく。入所後もご本人の言動から汲み取れる事柄を大切にしている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日課表・ケース記録・健康チェック表を活用し把握に努めている。またセンター方式のシートを活用し、総合的に把握できるよう努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を用いて、入居者の言動から入居者の思いを把握に努めている。また家人や主治医・訪問看護師等と連携をとり、ケアに反映させている。また、定期的カンファレンス(随時)などで職員全員で意見交換し、介護計画を作成している。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しと毎月のカンファレンスにて話し合っている。状況が変化した際には、随時カンファレンスを行い、見直しを行なっている。気付いたことをメモしておき見直しに活かしている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各ケース記録の記入や申し送りノート・健康チェック表の記入、24時間シートなどの活用により全職員勤務開始前の確認をしている。気づいたことは、ケース及び気づきメモをとっている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診や送迎・買い物に付き添っている。家人が宿泊されることもあり、第2の実家と思って頂ける様努めている。また、家族や本人の希望にてここを終の住処として看取らせていただいた方もある。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1 項目					
Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防訓練の際には消防の方に指導を仰いだり、近隣の方や民生委員、老人会会長などにも協力を得、文化的で社会的な暮らしが出来るよう意見を交換している。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣のデイサービスに気軽に遊びに行けるよう支援している。また馴染みのサロンへ参加していただけるよう送迎などを行い支援している。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	該当者あり。現在権利擁護などのサービスを使えるよう手続きを進めている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。家族が同行できないときは職員が代行している。また、必要に応じてかかりつけ医に状況報告を行ったり相談する等、連携を取り合っている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	関連施設の豊郷病院に認知症外来があり、治療や診断を依頼したり、認知症についての専門医からの助言などをもらい、相談できる関係が築けている。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションに2週間に1回訪問して貰い健康管理や医療面の助言・対応を行なってもらっている。また、必要時家人に報告や助言等も行なってもらっている。24時間体制を確保している。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、本人の情報を医療機関に提供し、MSW・家族などと情報交換しながら、ご本人に負担とならないよう、できるだけ早期に退院できるよう支援に努めている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末に対する方針を、家族・看護師を交え話し合いの機会を設け医師にも相談し、本人や家族が安心できるように支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人・家族の意向をふまえ、本人の意志を大切に、医師・訪問看護師と密に連携をとり、急変時すぐ対応できるようにしている。グループホームで出来る事、出来ない事を家族等に説明し、同意を得るよう努めている。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族・ケアマネージャーと情報交換をし、リロケーションダメージを極力最小限にとどめられるよう努めている。ケアプラン・アセスメントシート等を本人、家族の了解のもと次のところへ提供している。		
地域資源との協働 10項目中 10 項目					
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	記録の際、個人名はイニシャルで記入している。利用者の誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけを行なっている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表現するように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員のコミュニケーション技術の向上に努め、利用者本人が自己決定できるコミュニケーションや環境を作るよう努めている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、食事のタイミングや買い物、散歩、入浴時間など利用者の思いやペースに合わせて、できるだけ個別に希望にそった支援に努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の馴染みの美容院に行かれている方もいる。本人の望む身だしなみ、おしゃれができるよう、また季節に応じた本人の好みにそったおしゃれができるよう支援している。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、利用者と一緒に決め、旬の食材を利用し、個人の嗜好を大切にしながら調理や盛り付け、片付けなど職員と行なっている。また調理方法等も教えてもらいながら一緒に調理している。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの好まれるものを把握している。甘味などの好み、温度加減の好みを把握し提供している。常時飲酒する方はいないが、お酒を好まれる利用者には、行事や外食時などで楽しめるようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使用し、排泄パターンと本人のサインを見逃さないよう支援している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できるようにし、本人の希望する時間に入浴できるようにしている。何かされている方にはタイミングを考えて入浴していただけるよう配慮している。		
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活習慣の把握に努め、馴染みの寝具を使用してもらっている。季節により保温性や涼感があるものを使用している。寝付けない時は原因を探るとともに、状況に応じ、話をしたりしている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴は本人、家族等より情報を得、それぞれが力の発揮できる場面(得意としていること)を提供し、利用者の経験を最大限活かしている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームの買い物の支払や、自分の買い物の支払など、その人の力に応じた、また場面場面に応じた力を発揮してもらえるよう努めている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の、希望や能力、生活歴から考えられる生活支援している。日常の買い物、ドライブ(特定のものを買いたい・季節の花が見たいなど)や散歩に出かけている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	それぞれの意見や要望を聞きながら、季節ごとの外出(花見、バラ園、ひまわり畑、コスモス畑、絵画展など)や誕生日の夕食(ちょっと高級な料理屋)などに行っている。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて手紙、電話の支援をしたり、手紙や電話をかける事を勧めたり、親しい人や家族等への年賀状を出すための支援を行っている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間は決めておらず、いつでも気軽に訪問していただき居心地よく、ゆっくり過ごしていただける雰囲気作りを心がけている。		



自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束のないケアを行うために、身体拘束や、高齢者の権利擁護の研修に積極的に参加し、職員が共通認識を持ってケアにあたるよう努めている。		
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関及び、裏口は鍵をかけず、自由に出入りできるようにしている。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、職員間で連携をとり、安全に生活できるよう見守っている。夜間は、2時間おきに様子を確認し、また物音などがしたとき等は安全確認し、常に入居者が安全に生活できるよう配慮している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の能力を把握し、その状況に応じた対応が出来るよう、十分なアセスメントを行なうよう努めている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態を把握し、事故を未然に防ぐように支援している。万が一、事故が発生した場合には、事故報告書を作成し再発防止に向け、皆で話し合っている。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	各職員の地域での救急処置講習に参加している。	○	応急手当などの勉強会を定期的に実施している。応急処置など完全に出来るようにしていきたい。
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中や、夜間を想定して、利用者と共に、定期的に訓練を行っている。自治会や、近隣にも協力を得られるよう相談している。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者の変化に応じ、起こりうるリスクについて、家族に説明し、対応策を話し合っている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状況は把握しており、少しでも変化があれば、管理者に報告するとともに、家族、訪問看護へ連絡し、早急に対応している。		
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、服薬情報をまとめてファイルにし、薬の内容を把握している。服薬時は、入居者の能力に応じた支援を行い、最後まで服薬できるよう確認している。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日々の体操や散歩、また乳製品や乳酸菌飲料、穀物、海藻類を使った食事の提供を行い、また水分チェックし、便秘の予防に取り組んでいる。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	本人の習慣を尊重しつつ、一人ひとりの力に応じた対応をしている。義歯の方は、就寝前に義歯洗浄液につけて清潔が維持できるよう支援している。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量は、記録している。それぞれの好みや、習慣に応じた支援をしている。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルは作成している。研修で学んだことを全職員に伝達講習している。感染委員会を設置して、委員会が中心となって感染予防、感染対策を行なっている。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は、毎食加熱殺菌、あるいは毎食漂白し、清潔・衛生を保つよう心がけている。食の安全には十分配慮し、賞味期限、消費期限についても十分注意し、調理している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりや裏庭に、季節の花を植え、明るい雰囲気になるようにしている。裏庭には、ベンチを置き、近隣の方、子供たちと一緒に過ごせるスペースを作っている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	強い日差しが、直接差し込まないように、天窓には和紙を貼っている。季節に合った花や、色紙、習字など飾っている。住環境を整え、分かりやすい、安心できる空間作りを心がけている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファは2ヶ所に、長い廊下にも、椅子を2ヶ所設置している。また、畳コーナー、裏庭には、ベンチもあり、一人や、少人数で過ごしていただけるよう工夫している。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた品々(タンス、机、ぬいぐるみなど)を持ち込んでいただき、馴染みの空間で安心して過ごしていただけるよう配慮している。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日々、こまめに換気は行っている。共用スペース以外の、各居室も、暖房時期には加湿も行っている。冷暖房に頼りきらず、外気温との差が大きくならないよう室温を見ながら、衣類の調整も行っている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関には安全に履物の履き替えが行えるよう、椅子を置いている。廊下には手すりを取り付け、また廊下の途中に椅子を置き、休憩できる。身体機能の低下に伴い、床にマットを置き、休んでいただいている方もいる。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々人の出来る事、分かる事、環境を整える事で出来る事、分かる事を把握し、安心と自信の持てる自立した生活が出来るよう支援している。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周り、裏庭には、花や野菜を植えている。裏庭には、ベンチもあり、日光浴をしながらお茶を飲んだり談話できるよう工夫している。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

個々人が尊重され、個人個人のあたり前の生活が地域の中であたり前に営めるよう、職員全員が協力し努力しています。出来ない事に目を向けるのではなく、出来る事や環境を整える事で出来る事を増やし、自立した生活が継続できるよう支援しています。認知症専門指導師がいる施設として、自施設の職員の育成のみならず、地域への認知症の啓発活動や、実習施設として人材の育成にも力を入れています。

## 評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	
<b>IV-1. その人らしい暮らしの支援</b>	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
<b>IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 5項目/5項目)について

運営理念、基本方針に則り、職員一人一人が自分の言葉で具体的に理念を語り、その理念に基づいた行動と支援が実践できる認知症介護の専門家として、入居者の支援や地域での認知症啓発が出来ていると考えます。

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 2項目/2項目)について

個人が尊重され受容され、共感するところに安心と信頼が生まれると考えています。そのことが、援助する側、される側という関係を越えた馴染みの関係と、当たり前の人と人との関係が構築できてきた要因と考えます。

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 4項目/4項目)について

認知症という症状を理解し、またその人の課題についての原因や背景について、常にその人のストーリーに返り、環境を整える事でその人らしい暮らしを支援する事が出来てきています。

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 7項目/7項目)について

認知症という症状にだけ囚われるのではなく、身体状況を把握し、適切な対応が出来てきていると思います。また、認知症ゆえの生活のしづらさを、日々のかかわりから気付く事が出来、環境を整備する等の工夫により、その人らしい暮らしが継続できるような支援が出来てきていると思います。

### V サービスの成果に関する項目について

職員との信頼関係や馴染みの関係をとおして、家族や入居者一人ひとりの思いや希望にそった生活が支援できていると思います。家族との信頼関係もほぼ取れていると感じています。今後もより深い信頼関係が構築でき、入居者一人ひとりが生活のしやすい環境の中で、安心した生活を継続してもらえるよう、日々の気付きを大切にしていきたいと思います。また、職員が生き生きと仕事に取り組めるよう、認知症介護の実践を通して入居者の自立した姿が、職員の喜びとして共有できるよう支援していきたいと考えています。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日: 20年 11月 1日

前回評価年月日: 19年 11月 1日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
5	2	地域との付き合い	H21.4.1 ~ H22.3.31	地域の住民として、地域で 手伝いをしていきたい。公 園の草抜き。保育園への 雑巾のプレゼント		
70	1	応急処置講習	H20.4.1 ~ H21.3.31	来年度に施設内研修とし てきららと合同で看護師に よる応急処置講習を実施		